

科目名称：	ファッションと生活	
担当者名：	中村 裕美子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
ファッションとは本来「人間の創造的行為」で、ライフスタイルを包括するものです。「どんな時に何を着るべきか?」「自分に似合う服は何なのか?」見た目はその人の内面を表したものです。イメージを「色・形・素材」に落とし込む演習を重ねて、ファッションスタイルを考察します。また、色の基本を学ぶ中に色彩心理を生活に活かすことも含めます。		
授業の達成目標・到達目標		
「衣・食・住・こころ」の全てに「色彩」の効果を取り入れた選択ができるようになること。自分の体型、パーソナルカラーを理解すること。自身を客観的にとらえつつ、TPO に応じた最適な髪型、メイク、ファッションスタイルでセルフプロデュースできること。		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、ビジネス社会で求められる基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	
DP(2)	医療事務や観光業を含むビジネスの専門知識や技能を身につけ、各種資格を取得し、ビジネスワーカーとして他者と協調・協働することのできる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様なビジネス社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	○
DP(4)	学生一人ひとりが、ゼミナールを通して、ビジネス現場における様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力を身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)					0
ビジネスDP(3)			70	30	100
ビジネスDP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 パーソナルカバリスト	《経験年数1》 29年
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
「衣食住・心」に色彩の効果を活かした選択ができること	色彩の効果を最大に生かしたファッションコーデを常に表現	心に沿うファッション表現ができる	言葉の代わりに色で表現できる	色彩の心理効果を理解
自分の体型、パーソナルカラーを理解すること	パーソナルカラータイプの色・人・配色の特徴をすべて理解	アンダートーンの色の違いが理解された表現	なりたい自分のイメージと今の自分との差を理解	自分の肌・髪・瞳の色のアンダートーンを理解
自分を客観的にとらえ、TPOに応じた最適なファッションスタイルをプロデュースできる	イメージを的確に色・形・素材で表現	自分の体型、顔の形を活かしたファッションイメージを選択する	好きなファッションと似合うファッションの違いを理解	自分の似合うタイプの特徴をつかむ

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 ガイダンス・言葉の代わりに色で表現・色彩心理学「ファッション」「似合う」をプレゼンテーション	カラーカードを使って自己紹介できるようにしておくこと	30分
第2回 服の知識(シルエット、素材、柄、品質表示、サイズ、採寸方法) サイズ計測実習	テキスト p12~32掲載の、自分の持つアイテム調査する	60分
第3回 ファッションスタイル、ファッションイメージ(グループワーク)	テキスト p36~48、自分のファッションイメージ候補をまとめる	60分
第4回 体型と体型カバーのテクニック、自分の体型を知る(グループワーク)・TPO	テキスト p52~72、自分の体型の悩みをまとめておく	60分
第5回 色彩学の基礎、パーソナルカラー(実習)	テキスト p74~81、自分がどのタイプに分類されるかを考察する	60分
第6回 パーソナルカラー診断実習(一人一人の似合うを調査)	手持ちの服などの自分色の服や小物の調査レポート作成	60分
第7回 パーソナルカラー診断実習(一人一人の似合うを調査)	手持ちのメイクや小物の自分色の服や小物の調査	60分
第8回 パーソナルカラー診断実習(一人一人の似合うを調査)	パーソナルカラーを活かしたファッションアイテムの調査を行ない、レポート作成	90分
第9回 配色の基本(色合わせトレーニング)実習	テキスト p84~86、配色課題プリント仕上げ	90分
第10回 メンズウェアとファッションの歴史	テキスト p88~98・110~116メンズアイテムを実際の店舗などでフィールド調査	90分
第11回 ヘアメイク(自分のメイク道具持参、実習)	テキスト p102~108、手持ちのメイク用品の4シーズン分類をしてまとめておく	60分
第12回 パーソナルカラーを活かした配色実習(グループワーク)	自分のパーソナルカラーグループの配色を考察しカードで作成しておく	60分
第13回 自分のなりたいファッションイメージをビジュアル化する実習	カラーワーク実習の準備(雑誌切り抜きやネットからのプリントアウトをしておく)	60分
第14回 セルフプロデュース(TPO設定しファッションスタイルを発表するためのディスカッションと実習)	自分のファッションスタイルを考え、表現するアイテムを収集する	90分
第15回 まとめ 自分のファッションスタイル研究発表	発表準備プレゼン資料、原稿作成	90分

事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、予習や考えておくことを小レポートにまとめておくこと。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。
授業への積極的関与 10% 課題への取り組みおよびその評価 70% 期末の研究発表 20%

課題に対してのフィードバック

授業内で課した課題プリントをルーブリック等で評価し返却する。最終プレゼンの作品は事務局を通して返却。

教科書・参考書

教科書：基礎からわかるパーソナルスタイリング著者日本パーソナルスタイリング振興協会・発行(株)学研プラス
教材：CUSカラーカード185 (株)カラースペースワム 発行